

簿記検定、税理士、公認会計士とは

簿記とは、日々のお金の動きや取引内容を一定のルールに従って記帳する技術のことです。

簿記の知識を身につけることで企業の財務状況を理解できるようになり、就職活動の企業研究にも役立ちます。

税理士は、税の専門家として納税者が自らの所得を計算し、納税額を算出する申告納税制度の推進の役割を担う仕事です。

公認会計士は、監査と会計の専門家として、企業が作成した財務諸表やその他の財務情報を独立した立場で監査し、その情報の信頼性を確保する仕事で、資本主義社会を根底から支える存在です。



公認会計士

会計に携わる最高峰の資格

- ・ 監査業務だけでなく、コンサルティング業務や一般企業、教育機関での仕事など、多くの活躍の場がある
- ・ 公認会計士資格を取得すれば税理士登録が可能



税理士

「税金」の専門家

- ・ 独立開業して中小企業の経営支援にも携われる
- ・ 一般企業や税理士法人に勤務し活躍することもできる働き方の幅が広い国家資格



簿記1級

国家資格への登竜門

- ・ ハイレベルな会計スキルを身につけたことの証となる
- ・ 公認会計士講座開講前の先行学習としても有用

簿記2級

実践的な知識が身につく

- ・ 自身のキャリア向上の機会が増える
- ・ 独立開業するなら必須



簿記3級

経理・会計の入門資格

- ・ 履歴書に書くことができる資格で会計系資格のはじめの一步
- ・ 「企業のお財布事情」がわかる